

令和6年度一休さん保育所等訪問事業における自己評価表 集計結果

(令和7年1月実施分)

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	職員の配置数や専門性は適切であるか	100			現在、訪問支援員は保育士2名(経験10年以上・5年以上各1名)、天心堂へつぎ病院小児リハスタッフ6名を配置している。
	2	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画が作成されているか	100			契約時の面談において、訪問支援に対する要望や保護者が感じている課題等を丁寧に聞き取り、一休さんでの日頃の様子等もアセスメントしながら課題を整理し、計画を作成している。
	3	支援計画に沿った訪問支援が行われているか	50	50		訪問回数が少ない為、十分に支援ができていないといえない。 【改善課題】
適切な 支援の 提供	4	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100			契約時に書面にて説明を行い、変更があった場合には都度、変更内容を記載した文書を配布し、随時説明を行っている。また、事業所内に重要書類を提示している。
	5	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100			訪問支援実施後は、保護者へ面談・電話等で報告を行い、共通理解に努めている。
	6	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100			必要に応じて随時、面談や助言等を行っている。
	7	父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			100	コロナ禍をはさんで5年近く実施できていない為、今年度は半年に1回程度、保護者が参加しやすい形での講演会や親子教室、見学会等を実施していく。
	8	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	50	50		相談の申し入れがあった際は、電話やメール、場合によっては面談を実施するなど、迅速に対応している。
	9	子どもや保護者との意思の疎通や伝達の為の配慮がなされているか	100			・子どもが理解しやすい様、視覚的な説明を意識している。 ・就労していて頻りに会うことが出来ない保護者もいる為、連絡帳等を利用し、情報を伝える等の対応を行っている。
	10	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか		100		月に1回広報誌を作成し、配布を行っている。また、各行事ごとの詳細な案内や連絡体制の情報等も全て紙面にて作成・配布を行っている。保護者アンケートや自己評価の結果についてはホームページにも掲載している。
	11	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100			個人情報が記載された書類は全て職員室にて厳重に保管し、個人情報が記載された文書を処分する場合は必ずシュレッダー処理を行っている。
非常時 の 対応	12	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	100			「身体拘束廃止及び虐待防止委員会」に加えて今年度より「感染対策委員会」「災害対策委員会」を立ち上げ、全職員がいずれかの委員会に所属し、定期的に委員会を開催し、各種マニュアルの見直し・訓練等を実施している。また、保護者には本年度、マニュアル集を配布し、周知に努めている。

【改善課題】

訪問先(保育園・幼稚園・小学校等)とこまめに連絡を取り合いながら、児童の様子についての情報交換を行い、合わせて訪問日時の連絡調整を行うことで、定期的かつ継続的な訪問支援を実施していく。

